

日本工業大学専門職大学院

技術経営研究科

所在地

東京都千代田区神田神保町2-5

アクセス

東京メトロ/都営地下鉄線・神保町駅下車
徒歩2分、九段下駅下車徒歩5分

問合せ先

03-3511-7591(技術経営研究科)

[ホームページはこちら](#)

経済・経営・商学

東京都

大学院



専門性を高めるため

時代に即応した経営判断の基準となるバックボーンを確立したいと考えていました

プロフィール

小田倉 久視さん(48歳)

大学卒業後、システム・エンジニアとして活躍していたが、1993年、父親が創業した工業塗装会社を承継。2013年4月、経営スキルのブラッシュアップを図るため同大学院に入学。2014年3月修了。

この大学院に入学した動機は？

20年以上、会社経営に携わってききましたが、近年は海外を含めた企業間競争が激しくなり、それに勝ち抜くためには冷静で柔軟な「かじ取り」が必要になっています。これまで、さまざまな局面で経営者としての決断をしてきましたが、その判断基準は今の経営環境下において本当に適切だったのかどうかを改めて確認しておきたいと考えたことが大学院入学のきっかけです。中小企業の経営に的を絞った実践的な知識を1年間という短期間で養える点に魅力を感じ、本大学院に入学することにしました。

入学して良かったと感じることは？

会社経営者、国際機関勤務の方、外国人留学生など、多彩なキャリアを持った社会人学生とディスカッションすることで、新しい視点や気づきが得られたと感じています。また、教授陣との距離が近く、親身な指導を受けることができました。中でも持続的に発展できる会社とはどうあるべきかを「人と組織」の面から深められたことが一番の収穫。今後は、ここでの経験をベースに柔軟性と強さを兼ね備えた組織づくりに取り組み、ビジネスを通して社会に貢献できる会社にしていきたいと考えています。



私のオススメ科目

● 事業・技術・知財の三位一体の知財戦略

精密機械メーカーの知財部門出身の教授が担当する科目。グローバルな知財戦略を築く上で何を優先して考えるべきか、知財をどのように事業に結び付けていけばよいのかを深く掘り下げて教えていただきました。

● MOTのための価値経営

財務・会計分野の応用科目。企業価値を高めるための管理会計はどうあるべきかを学ぶことができたおかげで、これまで自分の中で形にならずにモヤモヤしていた事業展開のプロセスが少しずつクリアになってきました。

お金のやりくり法

特別なやりくりはありません。決して負担に思わなかったわけではありませんが、ビジネスに役立つ「知識」や「気づき」をたくさん戴いたことを考えれば、有益な自己投資だったと思います。

ある一週間のスケジュール

月曜日	週の前半は茨城にある工場での仕事。※本大学院は春・秋(各15週の授業)、夏・冬(各6週の集中講義)の4期制をとっており、各期によってスケジュールが大きく異なるため、これは大雑把なイメージです。
火曜日	現場スタッフとのミーティングや技術開発を含めたマネジメント関連業務を中心とした仕事をします。東京の自宅から片道1時間半の移動時間は勉強タイム。電車の中で考えをまとめたりレポートを書いたりしていました。
水曜日	自宅での勉強時間は、朝5:00~6:30または夜23:00~26:00と決めていました。平日にまとまった勉強時間を確保するためには、どうしても早朝か深夜ということになります。
木曜日・金曜日	週の後半は授業に出席するため、東京オフィスでの仕事を割り振っていました。昼間は総務・経理などの管理業務や取引先との打ち合わせ等を行い、夜間に2コマ(18:30~21:40)の授業を受けます。
土曜日	9:30~20:00の間に6コマの授業が設置されており、入学直後の春学期には、夏以降のスケジュールをラクにしようと考えてリミット一杯の6科目を履修していました。